

2000億円の関・北九州道路より 市民のくらし・防災を!

市長選挙13日告示

アベ政治に、モノが言える市長を!



NHKの録画どり
きっぱり「関北九州道路は反対です」

8日、NHKの取材で録画とりをしました。高齢者対策は?人口減少を食い止めるには?施設がなくなっている。どう認識しているか?住みたいと思える北九州市にするには?災害に強い町づくりは?関・北九州道路については?の質問に対してそれぞれ1分間スピーチで、想いを伝えました。

放送は16日から3日間、18時10分NHK「ブリッジ北九州」で3回連続して放映されます。

1月13日告示、27日投票で北九州市長選挙がスタートします。北九州市民のくらしがかかった大切な選挙です。

ながた市長予定候補は、安倍政権の消費税10%などの悪政に対し、モノが言える市長が今こそ必要だと訴えています。現市長は自民党からの推薦を受け、安倍政権にモノを言えないのが実態です。これでは市民のいのちも暮らしも安全も守れません。

また、2000億円もかかる『関・北九州道路』の大型開発優先の市政から、市民の暮らし優先に切り替える絶好のチャンスです。ながたは違う、市政を変えようと力強く訴えています。



子どもたちの前で演説するながた候補



8日、ながた市長予定候補が北区の金鶏公園で演説すると、子どもたちが集まって、最後まで話を聞いてくれました。ながたさんは、わかりやすく話そうと苦労したそうですが…。話が終わると握手してくれました。

ながた重点政策は 実現できます

ながた市長予定候補は、2000億円の関・北九州道路よりも市民のくらし防災に予算を切り替えることを提案しています。ながた氏が掲げる10の重点政策(右表)を実現するために118億円の経費がかかります。

北九州市の一般会計予算5600億円の2.1%です。予算提案権を持つ市長の権限で十分に可能です。

ながた浩一公約実現の経費一覧 (単位:億円)

	必要経費
子ども医療費を中学校卒業まで完全無料に	10.5
商店リニューアル制度の創設	3.6
国保料・介護保険料の引き下げ	12.0
高齢者・障がい者の福祉乗車券制度	18.3
市独自のがけ崩れ対策事業の創設	3.2
給付型奨学金の創設	2.5
公契約条例の制定で、適正な賃金の保障	20.0
全公立小中学校で35人以下学級の実施	30.0
学校給食を自校直営方式に戻す	16.0
計	118億円